

第17回 JCHOりつりん病院地域協議会 議事録

開催日 令和6年10月3日(木) 15時00分～16時20分

開催場所 JCHOりつりん病院 本館3階会議室

出席者 【院外】

溝口晶仁(高松市医師会)・里石めぐみ(行政/高松市保健所)・柴田正紀(利用者)

【院内】

大森院長・因藤副院長・田村副院長・三谷看護部長・足立事務長

阿部薬剤部長・林放射線技師長・山内事務長補佐(医事)

宮西事務長補佐(総務)

欠席者 横井徹(医療機関)

概要

(1) あいさつ・新規メンバー紹介

○外部委員の交代について説明。

(2) 概況報告について

資料1を用い説明。(資料省略)

(外部委員)

患者満足度調査については、夜間急病診療所でも行っていますが、おおむね好意的な意見が多いです。患者の意見を聞くことは、改善点が見えるので良いことだと思います。償還確実性の高い財務計画を策定に関しては、保険点数が減らされてきているので、厳しい項目ですね。健診に関しては、りつりん病院の健診結果はコンパクトに纏まっていて見やすいです。健診事業の拡充は良い方針だと思います。

(内部委員)

健診結果については、詳しい報告よりは、要領よくコンパクトに纏まっている方が良いのご意見ですね。収益については、どの入院料を算定するのが重要となっていて、地域包括医療病棟のシミュレーションを行っていますが、ハードルが結構高いです。

(3) 患者動向・経営状況について

患者数、日平均診療額、医業収益、総収支について資料2を用い説明。(資料省略)

(外部委員)

医業収益を上げるのが難しいですね。支出はほぼ決まっていますからね。

(内部委員)

収益を上げるのは難しいです。救急車の受入れを増やすとか、出来ることをコツコツとやっ
ていくしかないです。支出に関しても、老朽化に伴って色々なものが壊れていくので、増え
ています。修繕計画を立てて取り組む必要があります。

(外部委員)

救急車の受入れに関しては、みんなの病院が増えているようです。りつりん病院は内科の魅
力を上げる必要があるのではないのでしょうか。何か1つでもあれば違ってくると思います。

(4) 放射線部における紹介検査の状況

資料3を用い説明。(資料省略)

(外部委員)

R I に関しては認知症の診断にも有効ですので、そのあたりをPRしてはいかがでしょうか。
か。せっかくいい医療機器があつて、脳外科医も2名いるので。りつりん病院は開業医への
PRが弱いイメージがありますね。一時的ではなく、定期的にPRしてはいかがでしょうか。
紹介に対する結果報告も当日中にできるのであれば、それもPRできますね。

(内部委員)

脳血流シンチやダットスキャンをPRすることが出来ると思います。

(内部委員)

貴重なご意見ありがとうございます。疾患ごとの情報を集めて、パンフレットにして開業医
の先生に配布することを考えていきましょう。

(5) 医療DXの推進について

資料3を用い説明。(資料省略)

(外部委員)

電子処方箋がどのような運用になるのか詳しくは分かりませんが、現在はスマホのアプリ

を使って、処方箋を写真に撮って調剤薬局へ送信しています。病院から直接調剤薬局へ送れるのであれば、便利ですね。マイナンバーカードについては、以前に比べて進んできたイメージがあります。

(外部委員)

電子処方箋の発行には日本病院会の医師カードが必要になりますよね。

(内部委員)

HPKIカードですが、当院は昨年度JCHO本部の指示もあり、常勤医師が全員取得しております。

(6) その他次回の開催について

次回開催令和7年3月を予定。